

電池の全固体化をめざして

ーリチウムイオン導電体の開発と固体電池への応用ー

講師：菅野 了次 教授（東京工業大学総合理工学研究科）

日時：8月7日（木）16:00～17:00

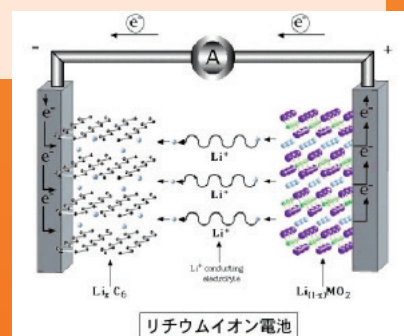
会場：環境科学院D棟101講義室

共催：電気化学会北海道支部

協賛：日本化学会北海道支部



蓄電池が高容量と高出力を達成し、かつ安全で信頼性に優れた長寿命なデバイスになるためには、電池をすべて固体で構成するのが理想である。特に、蓄電池が高エネルギー密度になると、有機溶媒の電解液とは異なる材料系を用いた電池が、安全性や信頼性の観点から必須になる。電池そのものを完全に固体化する全固体型電池の実現は講演者の夢でもある。本講演では、全固体化の鍵を握る固体電解質、いわゆる超イオン伝導体の開発の歴史と、最近報告したLGPS系化合物を紹介し、固体電解質を用いた全固体電池について概観する。



※東京工業大学の菅野了次先生が北大環境科学院の集中講義で来学された機会に、上記の通り講演会を企画しました。先生による最新の興味深いお話が伺える機会ですので、多数のご来場をお待ち申し上げます。

世話人：北海道大学 大学院環境科学院
環境物質科学専攻 ナノ環境材料コース
八木 一三（内線 4526）

E-mail: iyagi@ees.hokudai.ac.jp

※環境科学院の集中講義をかねて実施いたします